

企業版ふるさと納税 寄附企業紹介



2024

市町村企業版ふるさと納税支援事業

彩の国  埼玉県

はじめに

地方応援税制(企業版ふるさと納税)は、志のある企業の地方創生の取組支援を加速化させるために平成28年に創設され、国に認定された地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税が税額控除される仕組みです。令和2年度には、法人関係税の軽減効果が寄附額の最大9割となり、全国的に活用が拡大しています。令和6年度が制度の最終年度の予定でしたが、企業や地方公共団体から制度の延長を望む声が多く寄せられたことから、3年間の延長を行うことが令和7年度の税制改正大綱に定められました。

企業版ふるさと納税は、地域の課題を官民連携によって解決するための手法の一部として全国でその活用が拡大しています。単なるPRだけではなく、市町村・地域・企業それぞれとのパートナーシップを強化し、地方公共団体と企業が共に成長する機会を創出するための取組の第一歩であるとも言えます。

こうした制度を県および県内市町村が有効に活用し、本県の魅力ある地域づくりに参加していただける企業に呼びかけるため、昨年度に続き、「令和6年度市町村企業版ふるさと納税支援事業」を実施しました。令和6年11月26日に開催したマッチング交流会では、県と県内31の市町村、36社の県内外の企業に参加いただき、161件の面談が行われ県および県内市町村の注力事業を企業へのPR、および寄附に繋がるなど、大きな成果を得ることができました。

この報告書では、市町村企業版ふるさと納税支援事業を通じて市町村等にご寄附いただいた企業を紹介するとともに、巻末に企業版ふるさと納税の手続きや、物納による企業版ふるさと納税の活用方法を紹介しています。

企業の皆様にとって企業版ふるさと納税の理解促進、また制度が持つ可能性や新たな価値を見出し、地域との連携を通じた持続的な成長に向けた一助になれば幸いです。



SDGs 未来都市



埼玉県

1 アール・エル・パートナーズ株式会社

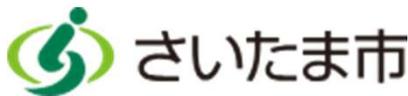
確かな信頼と実績で不動産ビジネスのお手伝い

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



寄 附 事 業

ランニングイベント開催事業(さいたまマラソン)



さいたま市は、埼玉県の南東部に位置する県庁所在地です。古くは中山道の宿場町として発達してきた歴史を持ち、現在は東北・上越など新幹線6路線を始め、JR各線や私鉄線が結節する東日本の交通の要衝となっています。本市は、平成13年5月に旧浦和・大宮・与野の3市合併により誕生し、平成15年4月1日には全国で13番目の政令指定都市へと移行しました。さらに、平成17年4月1日の旧岩槻市との合併を経て、関東圏域を牽引する中核都市として、さらなる発展を目指して行きます。

【さいたまマラソン2025】

令和7年3月16日(日曜日)に、「さいたまマラソン2025」を開催しました。マラソン大会は、市民を含む多くの方に観戦いただける他、ボランティアとして学生や企業の皆様に御協力いただけるなど、ランナーにとっての「する」「まなぶ」だけではなく、「みる」「ささえる」スポーツ活動としても多くの方に御参加いただけます。

「さいたまマラソン2025」の開催を通じて、市民のスポーツへの参加機会の創出、健康増進を図るとともに、地域コミュニティや地域経済など地域の活性化を図ってまいります。



寄 附 の 経 緯



今年度の企業版ふるさと納税マッチング交流会に参加し、事例紹介を通じて制度の具体的な活用方法を知ることができました。地域貢献と自治体様とのリレーションを築くことができていることを知り、具体的な寄附の検討を始めました。尊敬と長期的なパートナー・信頼される従来に捉われない進歩的なパートナーとなるべく、社会に貢献して参ります。

【さいたま市からのメッセージ】

この度は、本市の「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」の取組の一つである「ランニングイベント開催事業」に御賛同・御支援いただき、誠にありがとうございます。

本市では、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現を目指し、生涯スポーツの振興及びスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進しており、様々な施策や取組を実施しております。中でも、ランニングは、気軽に始められるスポーツで、継続的なスポーツ実施のきっかけとなることから、フルマラソンを含むランニングイベントとして「さいたまマラソン」を開催し、楽しく仲間たちで走ることができるファンラン種目も実施しております。

今後も、「さいたまマラソン」の開催を通して、市民をはじめ多くの方の継続的なスポーツ実施を推進するとともに、更により良い大会へと発展してまいりたいと考えておりますので、皆様の御支援をお待ちしております。

寄附企業の取組紹介

豊富な専門知識と実績を背景にお客様の不動産ビジネスを
バックアップします

当社は、不動産事業、金融関連事業、保険代理店事業を手掛けております。

2018年5月に不動産事業及び金融関連事業の事業拡大を進めるのを機に「首都圏インシュアランス・プロパティ株式会社」へ社名変更し、以降様々なニーズにお応えして参りました。

2024年7月に当社を存続会社としてDFLプロパティ株式会社を吸収合併し、更なる飛躍を目指して「アール・エル・パートナーズ株式会社」へ社名を変更しました。

お客様、社会からの信頼に応えることを最大の喜びとして、当社は何事にもスピード感をもって明るく積極的に行動して参ります。

取組1 REITブリッジ | 上場・私募

当社が不動産を購入し、一定期間保有後REITへ売却します。不動産現物、信託受益権の保有からブリッジファンドへの出資やノンリコースローンの拠出等様々なスキームに対応致します。

REITにおける物件取得時期、REITスポンサーサイドにおける物件売却時期の調整等幅広いニーズに対応可能です。



取組2 不動産リース

土地所有者から土地を借り受け、テナントの希望する仕様の建物を建築した上で賃貸する取引です。テナントは商業施設をはじめ、公共施設、物流施設、福祉施設、寮など幅広くご利用になれば、当社も数多くの実績を誇っています。

テナントの開発資金負担軽減、費用平準化、オフバランスニーズ、土地所有者の遊休地の有効活用ニーズに対応可能です。



企業概要

アール・エル・パートナーズ株式会社



代表者
代表取締役 宮崎 芳和

所在地
本社:東京都千代田区神田美土代
町9番地1

事業内容:不動産事業・
金融関連事業・保険代理店事業

資本金:41,322万円

ホームページ

<https://www.rl-partners.jp/>



ビーコンワークス株式会社

日ごろの感謝の気持ちを形に



寄 附 事 業

毛呂山町

若い世代の希望をかなえる事業



毛呂山町では企業版ふるさと納税の受入事業として、①産業の活性化と雇用の創出事業、②新しい人の流れ創出事業、③若い世代の希望をかなえる事業、④安心して暮らせる魅力あるまちづくり事業を対象としています。

③若い世代の希望をかなえる事業では、主に以下の事業を実施しています。

保育所等給食費無償化事業では、毛呂山町では少子化対策及び本町で学ぶすべての子どもを学校と家庭・地域の協力で健やかに育てていくことを目指しています。子育て支援の一環として、公立2園で主食を提供するとともに、保育所等に入所している児童の給食費(主食費・副食費)を無償化します。

地域子育て支援拠点事業では、次世代を担う児童の健全育成と子育て家庭の経済的負担の軽減を目的に「子育て支援金」を交付します。

学校教育の充実に向けては小中一貫教育とそれを支えるコミュニティスクールの推進により、毛呂山町で学ぶすべての子どもが健やかに成長するよう、学校と地域の連携により子どもを育てていきます。



寄 附 の 経 緯



坂井社長(左)と井上町長(右)

私たちビーコンワークスは「最高の普通」をテーマに、日々の暮らしが最高に幸せな時間になり、それが当たり前の普通の日常のように暮らせる家づくりを目指しています。毛呂山町においても素敵なお縁に恵まれて、たくさんのご家族の分譲住宅や戸建て注文住宅の建築に携わらせていただきました。

毛呂山町でお仕事を頂く機会が増えてきた中で、旧知の経営者仲間から企業版ふるさと納税をご紹介いただき、日ごろの感謝の気持ちを形にできることを知り、寄附に至りました。

毛呂山町の「若い世代の希望をかなえる事業への寄附」を通じて、町の活性化や子育て世代の負担軽減により住宅需要の増加が生まれ、寄附を通じて地域と好循環な関係を築いていきたいと考えています。

【毛呂山町からのメッセージ】

毛呂山町は高齢化も進み、若い世代の移住・定住促進が必要となっております。中でも、若い世代が魅力を感じられるまちづくり及び転出を抑制し、移住定住を推進できる町を最重要課題として、特に子育て世代をターゲットとし、自立的かつ持続的な人口減少対策の推進を目指しています。

今回のご寄附は本事業にご共感をいただき、貴重なご寄附をいただきました。若い世代を応援する施策実施のために大切に使用させていただきます。皆様からの支援・連携をお待ちしております。

寄附企業の取組紹介

いつも以上を、いつもの家で。最高の普通。

ビーコンワークスは、「最高の普通」を追求する戸建て分譲業者です。お客様の暮らしにフィットする家を提供し、日常の景色を愛おしくする住まい作りを目指しています。派手や高級を追求せず、シンプルで飽きない最適な住まいを提供しています。当社では、機能美を追求し、デザインと快適さを両立させることで、心地いい暮らしを実現するとともに、お客様とのフランクな関係を大切に、パートナーとして本音で話し合える場を提供します。

当社の強みは、豊富な家のスタイルとカスタマイズが可能で、お客様のライフスタイルに合わせた家づくりです。シンプルで上質な暮らしをベースに、自分らしいデザインを提案していきます。迅速かつ安心感のある対応、360°見える3Dパースでの家のイメージ確認、そして資産価値の維持がしやすい設計など、全てにおいてお客様の満足度を高めるサービスの提供を目指します。

取組1 ビーコンワークスが大事にするもの

ライフスタイル発想

それは特別だけど、何気ない日常。派手でもなく高級でもない、でもシンプルで飽きない、済人にとっての最適な住まい。わたしたちは日々探し続けます。2つと同じものはない「最高の普通」を目指して一。

機能美発想

どんなにデザインがオシャレでも、生活しにくい家では意味がありません。お客様が日常生活で1ミリもストレスを感じないほど心地いい暮らしを叶えていながら、洗練されたデザインが自然と表れていく家を作っていきます。

カジュアル発想

私たちは基本的にスーツを着ていません。それは、お客様との間で「壁」を作りたくないから。営業マンではなく、いっしょに家を作っていくパートナーとして、何でも本音で話し合える人としてフランクに接していきます。いい家は、気軽に話し合える関係性から生まれます。

取組2 完全オーダーメイドの注文住宅と2つの商品シリーズ

注文住宅

理想の暮らしを”とことんわがまま”に叶える



trip

旅するように、自由に暮らす



LIFE LABEL

家づくりをもっと自由に、カジュアルに



企業概要

ビーコンワークス株式会社

BEACON WORK®
Architect Design Office

代表者
代表取締役 坂井 雄大

所在地
本社：埼玉県川越市小仙波町2-7-1

事業内容：住宅建築、不動産売買

資本金：500万円

ホームページ
<https://beacon-works.co.jp/>





株式会社ホンダカーズ埼玉西

世界中のHondaの仲間が同じ想いでつながっている。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



寄 附 事 業



すべての子どもたちが尊重され、たくましく健やかに成長できるような環境を整備する事業



ご寄附をいただいた本事業は、市の宝である子どもたちが健やかに育つため、保護者の皆さまが、安心して子育てができ、子育てに喜びや生きがいを感じることができるよう、環境の整備を進めるものです。また、子どもたちの幸せを願い、協力し合える、地域・社会全体の仕組みづくりも進めております。

所沢市では、企業版ふるさと納税の寄附対象事業として、上記のほか「市の魅力を高め、住む続けたいまち、訪れたいまちを目指す事業」、「産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指す事業」、「安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指す事業」

を設定し、地域課題解決に向けて取り組んでおります。



寄 附 の 経 緯



所沢市内には、当社の店舗が3店舗、工場および車両保管場所がそれぞれ1事業所あり、事業活動を通じて地域との深い関わりを持っています。このたびの寄附は、所沢市の「豊かな自然を守りながら、新たなことにもチャレンジする」姿勢に深く共感したこと、そして、未来を担う子どもたちの教育環境の向上に寄与できる取り組みであると考えたことがきっかけです。

また、所沢市をホームタウンとする「さいたまブロンコス」様が、キッズ向けのバスケットボールスクールや無料観戦招待など、地域貢献活動に積極的に取り組まれている点も、今回の寄附を決定する大きな要因となりました。

当社も「新たなチャレンジ」を目指す地域に根差した企業として、今後もさまざまな取り組みを通じて地域社会への貢献を図ってまいります。

【所沢市からのメッセージ】

この度は多大なるご寄附を賜り、心より感謝申し上げます。寄附に込められた思いを実現できるよう努めてまいります。当市は今年、市制施行75周年という節目の年を迎えます。明るい未来や幸せを感じながら充実した生活が送れるまちとなるよう、ホンダカーズ埼玉西様をはじめとした関係者の皆さまと連携し、諸施策に取り組んでまいります。今後とも市政への変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

寄附企業の取組紹介

地域社会の発展とともに成長し、安心、信頼の構築のもと、
 全てのお客様のカーライフをサポートする。

Honda Cars 埼玉西は、8拠点を展開する、Hondaディーラーです。新しく埼玉県へいらっしゃった皆様にご満足いただけますようなお店づくりを心がけ、皆様のお越しを心よりお待ちしております。
 他都道府県からお住まいを変更される方、また県内で転居をされる方のナンバー変更等も承っております。
 ぜひ、お気軽にお申し付けください。今後、皆様と末長いお付き合いができることを楽しみにお待ちしております。

取組1 ショールーム一覧



新狭山店



新所沢



入間東店



イオン入間ショールーム



東飯能店

U-Selectコーナー



U-Select狭山中央



東所沢サービスセンター



U-Select西所沢

取組2 対外的な主な取組み

【参加加盟】

- ◆ NPOフードバンクネット西埼玉
- ◆ フードバンクいるま
- ◆ NPOさやま環境市民ネットワーク
- ◆ 埼玉犯罪被害者援助センター寄付型自販機
- ◆ 瀧澤博人・(株)ビクトリージム広告スポンサー
- ◆ (ホンダカーズ埼玉西は瀧澤博人選手を応援しています)

ほか地域貢献活動



埼玉県「多様な働き方実践企業」に
プラチナ認定されました！

【認定】

- ◆ 多様な働き方実践企業(プラチナ)
- ◆ 埼玉県シニア活躍推進宣言企業
- ◆ 埼玉県アライチャレンジ企業
- ◆ 埼玉県SDGsパートナー
- ◆ ECO Tama Project
- ◆ 男性育児休業等推進宣言企業
- ◆ 彩の国ロードサポート制度
- ◆ 埼玉県keep38プロジェクト
- ◆ プラチナサポートショップ
- ◆ 埼玉県障害者就労施設プレミアムパートナー企業



埼玉県SDGsパートナー
に登録されました！

企業概要

株式会社ホンダカーズ埼玉西

Honda Cars 埼玉西

代表者
代表取締役社長 中村 善昭

所在地
本社:埼玉県狭山市上奥富106-1

事業内容:新車販売、中古車販売、
レンタカー、車検・点検・整備・修理、
損害保険代理店業務、部品用品販売

ホームページ:<https://www.hondacars-saitamanishi.co.jp/>



4 医療法人社団メディデンタル

患者さんのお口の健康と笑顔のために

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

10 人や国の不平等をなくそう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナシップで目標を達成しよう

寄 附 事 業

北本市
kitamoto city

新しい時代の流れを力にする事業(DX)



北本市では企業版ふるさと納税の受入事業として、①稼ぐ産業と安定した雇用を創出する事業、②新しい人の流れとつながりをつくる事業、③若い世代の出産・子育ての希望をかなえる事業、④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業、⑤多様な人材の活躍を推進する事業、⑥新しい時代の流れを力にする事業を対象としています。

⑥新しい時代の流れを力にする事業では、情報通信技術等の未来技術の活用により、教育や公共・社会基盤等の分野におけるDX等を推進することで、地域課題の解決に取り組むとともに、地域の魅力向上を図ります。また、地域の活性化等を通じて持続可能なまちづくりを進めるため、SDGsを推進します。

【具体的事業】

- ・市民との情報共有
- ・効果的かつ効率的な行財政運営の推進
- ・SDGsの実現に向けた取組の推進



寄 附 の 経 緯



メディデンタルは診療業務だけでなく、バックオフィス業務においても、積極的にDX化に取り組んでいます。可能な限り書類をクラウド化・ペーパーレス化し、様々な業務のワークフローを見直すことで、医療人材の負担軽減やテレワーク業務が可能な業務体制構築を実現しました。

近年、労働人口の減少による人手不足が全国的に騒がれています。医療業界も例外ではなく、多くの医療機関が慢性的な人手不足により、限られた医療人材で日々の診療に対応している状況です。コロナ禍を経て、テレワークなどの多様な働き方が求められるようになり、今後、医療業界も変革を推進して地域医療を支えていく必要があると思われます。限られた医療人材を効果的に活用し、地域医療に貢献するためには、歯科医院単独ではなく、地域と連携してDX化を推し進めていく必要があると考え、寄附に至りました。

【北本市からのメッセージ】

北本市では人口減少・少子高齢化への対応のため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、目標達成に向けて様々な地方創生のプロジェクトに取り組んでいます。今回いただいたご寄附は「市民にとって便利な市役所」を実現するべく行政手続きのオンライン化を推進する事業に活用させていただきます。今後とも企業の皆さまのお力添えをいただきながら、よりよい北本市にしていきたいと思いますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

& green
kitamoto city, saitama

寄附企業の取組紹介

生涯ずっと健康であり続けるためのサポートを

当法人メディデンタルは、埼玉県行田市・北本市・川口市を拠点に歯科医院を構えており、「ハートピア歯科・矯正歯科」「ハートピアデンタルオフィス」を運営する医療法人です。メディデンタルのスタッフは、歯科医療を担うプロフェッショナルとしての自覚を持ち、各々の責務を貫く事で、互いの信頼関係を高め、誇りとやりがいを持って診療業務に取り組むことを基本理念にしています。「ハートピア」の名前は、歯科医療に熱意と愛情(ハート)を抱いた仲間(ピア)が、患者様の口腔内の健康を生涯に渡りサポートし、患者様と私達が共に笑顔でいられるような歯科医院(ユートピア)創りをしていきたいとの願いが込められています。

地域の皆様の身近なホームドクターとして、小さなお子様からご高齢の方まで、将来にわたり歯の健康を守ることができるよう全力でサポートいたします。お口まわりのお悩みは何でもご相談ください。

取組1 多彩な診療メニューの提供

各院に複数の歯科医師、歯科衛生士らが在籍しており、各分野のプロフェッショナルが連携して診療に従事しています。一般的な歯科治療だけでなく、口腔ケアなどの予防治療、矯正歯科・小児歯科・口腔外科などの専門歯科治療に至るまで、多彩な診療メニューに対応いたします。



取組2 最新のデジタル医療設備を配備

被爆の少ないデジタルレントゲンや歯科用CT、高精度な光学印象を可能にする口腔内スキャナーなどデジタル医療を可能にする最新の医療設備を配備しています。



取組3 徹底した感染予防対策

厳しいヨーロッパ基準をクリアした滅菌器や、診療台に流れる水を清潔に保つ給水管除菌システム、診療室内をきれいな空気にして室内へ還元する空気管理機器などを導入し、衛生的で安全な院内環境を保つように努めています。



取組4 訪問歯科治療

身体的に不自由な方で歯科医院に通うことができない患者さんを対象に、ご自宅や入居されている施設に伺って歯科治療や口腔ケアを行っています。訪問歯科治療は、地域の方にとって、健康寿命を延長する上で社会的になくしてはならない医療基盤となると信じています。



企業概要

医療法人社団メディデンタル



代表者
理事長 洲崎 雄介

所在地
本社:埼玉県行田市持田1080
バイシアフードセンター行田店内

事業内容:歯科クリニック運営

ホームページ
<https://www.heartpia-dc.com/>





株式会社リンク建設

人と人との繋がりを価値あるものへ



寄 附 事 業



川口市



次代を担う人材を育てる事業

川口市は埼玉県の南端に位置しており、北は県庁所在地であるさいたま市に、南は荒川を隔てて東京都に接しています。都心へのアクセスの良さからベッドタウン化が進み、川口駅周辺をはじめとしてタワーマンションなども建設され、人口は平成30年に60万人を突破し、現在も人口増加が続いています。

「次代を担う人材を育てる事業」では、多様化する保育ニーズに対応するとともに、安心して子育てができるよう、切れ目ない支援の充実を図っています。また、将来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長し、のびのび学ぶことができるよう、川口市立高等学校を核とした教育環境の向上に努め、質の高い教育を実現するための事業を進めています。

【具体的な事業】

私立幼稚園の認定こども園への移行促進
保育士賃金補助制度の推進

地域の実情に応じた保育ニーズを把握し、保育所、認定こども園など多様な施設整備を進めるとともに、安全・安心な保育を実現するため、人材の確保と資質の向上を図ります。



川口市立高等学校及び附属中学校を教育拠点とした
学力向上支援・学校教育研修事業

川口市立高等学校を本市の教育拠点とし、学力向上のリーディング校にするため、施設・人材・教材などの充実を図り、中高一貫教育を実施することにより、社会性や豊かな人間性を育成します。

寄 附 の 経 緯

リンク建設は、1978年の創業以来、マンションの企画から設計、施工、管理まで総合的な事業を行ってまいりました。川口市内においても35棟のマンションの設計・施工実績があり、地域の発展に貢献してきました。

この度、弊社は2年連続で川口市に企業版ふるさと納税の寄附を実施いたしました。今年度の寄附は、次代を担う人材を育てる事業に対するものであり、私立幼稚園の認定こども園への移行促進や保育士賃金補助制度の推進、地域の保育ニーズに応じた施設整備を支援することを目的としています。

川口市の「安全・安心なくらしの実現」や「次代を担う人材の育成」に共感し、地域社会の発展に寄与することを目指しています。今後も地域貢献活動を通じて、まちづくりに努めてまいります。

【川口市からのメッセージ】

リンク建設様は、市内で多くのマンション建設を進められ、川口の住環境の向上に対して、多大なるご協力をいただいております。

この度は、2年連続で本市へ寄附をいただきました。昨年度は、「安全・安心なくらしを実現する事業」に対し、今年度は、「次代を担う人材を育てる事業」に対し寄附をいただき、有効に活用させていただきたいと存じます。

本市は、令和6年に内閣府より「SDGs未来都市」選定されました。SDGsに資する様々な施策に取り組むとともに、さらなる「選ばれるまちづくり」を推進してまいりたいと存じます。



ALPHACOURT
KAWAGUCHI-2

寄附企業の取組紹介

施主の気持ちでもの造り

リンク建設は建築設計事務所として1978年に創業以来、長年にわたり地元川越、近隣の皆様方にご愛顧をいただき、当社独自のアイデアや技術力により共存共栄の精神の元建物の建築に携わり、資産づくりのお手伝いをさせて頂いてまいりました。1998年頃に建設業に進出し、これまで東京都、埼玉県を中心にアパート・マンション約170棟を建設してきました。川口市においては35棟の賃貸マンションを建設し、1,621戸の住戸を供給し、市役所のすぐ近くに建設中・計画中の4棟を加えると2,009戸に達します。

取組1 マンションの企画・建設・運営の総合事業

当社の建築するマンションは鉄筋コンクリート造に特化することにより、安全性と住み心地に重点をおいた気配りの行き届いた建築物であると自負しております。また、当社独自の特許工法であるアルファスペースは、各室にトランクルームを設け、他物件との差別化ができるため集客において有利であるにご好評いただいています。

当社は質実剛健で使えば使うほど、住めば住むほど愛着が湧くような建物を造りたいという気持ちから、「施主の気持ちでもの造り」を理念に掲げ、社員一人一人が日々研鑽することにより、時代が必要とする技術力に磨きをかけ、より皆様方に満足と安心を提供できる建物を作り出すように、努力し続けていく所存でございます。

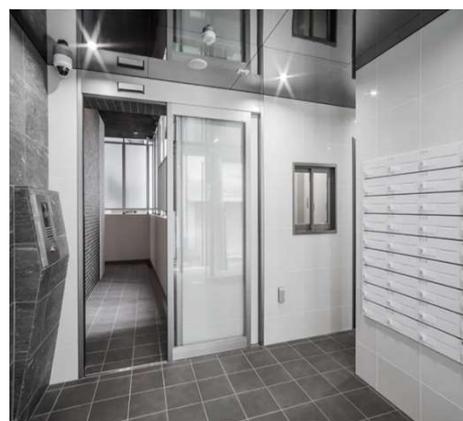


取組2 品質方針を掲げ、お客様の満足度と利益につながる提案

当社ではお客様との契約において、法を遵守し、安全の確保、高品質、適正な工期にてご提案いたします、社会が認め信頼できる品質とは何かを常に研究しています。

1. 高品質で性能の優れた建築物を提供するため、先進的な技術の研究を致します。
2. 建築部や関連サービスの提供においては、契約内容や法令、基準、行政官庁の指導に従い、お客様の希望を誠実に実現いたします。
3. 信頼性の高い商品をお客様にとって効率的、効果的になるよう生産致します。
4. 万が一品質にかかわる問題が発生した場合、速やかに状況報告と最良の解決策をご提案致します。

結果としてお客様の満足度や利益につながるものと自負できる提案をいたします。



企業概要

株式会社リンク建設



代表者
代表取締役 寺尾 吉

所在地
本社:埼玉県川越市旭町1-6-5

事業内容:建築設計・施工・建設事業

資本金:9,800万円

ホームページ

<http://www.linken.jp/company/>



企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)寄附の流れ

- 企業がどのような手続きで寄附をしたのか、一例を記載いたします。
- 事務手続きは、「寄附申込書の提出」「寄附金の納付」の2ステップのみです。
- 市町村等へ寄附意向を伝達し、最短2週間程度で手続完了となるケースもあります。

STEP 01

寄附の方針検討



企業版ふるさと納税制度を通じて、“どんな事業を応援するか”、“どの市町村を応援するか”等、寄附の方針を決定いたします。

※埼玉県内の市町村の情報は以下にて確認できます。

https://sumunara-saitama.pref.saitama.lg.jp/for_company/for_company-furusato/

STEP 02

社内検討



企業版ふるさと納税制度を利用するメリット、寄附先の市町村を選定した理由、納付金額等を社内で調整(決議)いただきます。

STEP 03

寄附手続き



企業 ① 寄附する市町村に連絡。寄附意向を伝達

企業 ② 寄附申込書を提出

市町村等 ③ 寄附金を納付する「納付書」の発行。またはお振込み指定口座の伝達

企業 ④ 納付書、振込にて寄附金の納付

市町村等 ⑤ 入金確認後、寄附受領証を送付

企業 **市町村等** ⑥ プロモーションに向けた調整(例:寄附贈呈式、報道発表)

STEP 04

税務処理の手続



受領証を添えて、企業版ふるさと納税制度の適用があることを申請することで、税控除を受けることができます。

『物品寄附』による企業版ふるさと納税

- 企業版ふるさと納税は、現金による寄附が一般的ですが、特定の条件^(※)を満たすことができれば、物品による寄附が可能です。
(※)事業に直接供することができるものであり、かつ、支出時の資産の価額を計算できるもの
- 自社製品等を寄附することになりますので、寄附企業としては、より地域への貢献を視覚的に認識することができます。
- 一方で、自治体として寄附が受け入れられない(当該物品を欲していない)場合もあり、現金寄附と異なって必ずしも寄附ができるとは限りません。

STEP 01

物品確認と寄附方針検討



自社で寄附可能な物品を確認します。併せて、“どんな事業を応援するか”、“どの市町村を応援するか”、寄附の方針を決定いたします。

※埼玉県内の市町村の情報は以下にて確認できます。

https://sumunara-saitama.pref.saitama.lg.jp/for_company/for_company-furusato/

STEP 02

寄附したい自治体へ意向確認



寄附したい自治体に対して、寄附したい物品をお伝えし、寄附受入の意向を確認していただきます。

※寄附受入が不可であれば、別自治体を検討

STEP 03

寄附手続き



企業 ① 寄附申込書を提出(※寄附金額は、第三者間で取引されたとした場合に通常付される価額となります)

企業 **市町村等** ② 寄附時期及び寄附場所の調整

企業 ③ 企業から自治体へ物品の寄附実施

市町村等 ④ 物品受領後、寄附受領証を送付

企業 **市町村等** ⑤ プロモーションに向けた調整(例:寄附贈呈式、報道発表)

STEP 04

税務処理の手続



受領証を添えて、企業版ふるさと納税制度の適用があることを申請することで、税控除を受けることができます。